

2016年8月30日

プジョー 208 R2、全日本ラリー選手権第6戦で3位表彰台を獲得
 ～ 雨が降り続くなか、安定した走りを披露してランキングトップを堅持 ～

プジョー 208をベースとしたラリー専用車「208 R2」が、2016年全日本ラリー選手権第6戦「モンレー2016 in 嬬恋」に参戦しました。ドライバーの柳澤宏至選手はウェットコンディションとなった難しいラリーを走りきり、3位表彰台を獲得。柳澤選手はJN5クラスのドライバーランキングで首位の座を維持しています。

第6戦は高原の避暑地、群馬県嬬恋村周辺のターマック(舗装路)を舞台に、8月27日(土)～28日(日)の日程で行われました。208 R2でJN5クラスを戦う「ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム」の柳澤選手は、強く雨が降り続き、霧も出た初日に安定したスピードを披露。2日目に入り、ウェットとドライが混在する難しいコンディションをミスなく完走し、3位でラリーを終えました。

プジョー 208 R2 ドライバーのコメント

柳澤宏至選手(ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム)JN5クラス 3位

「多くの車両が参戦し、JN5クラスはいつも以上に白熱した戦いになりました。そんななかで、しっかりとポイントを獲得できたことは良かったと思います。ドライバーズランキングでライバルをリードするという、スタート前に掲げていた目標は果たせました。これまでは208 R2でウェットターマックを走る機会がありませんでしたが、安心してステージを攻めることができました。それは、ここまでの戦いの経験によって、マシンがあらゆる局面でしっかり走ってくれるという特性を分かっていたからです。次戦のラリー北海道はハイスピードグラベルで、僕も得意にしています。208 R2で走ることが楽しみです」

全日本ラリー選手権第6戦「モンレー2016 in 嬬恋」リザルト

クラス/クラス順位	ドライバー/コ・ドライバー	車両	合計タイム
JN5/1位	眞貝知志/漆戸あゆみ	アバルト 500 ラリー-R3T	43:39.9
JN5/2位	新井大輝/伊勢谷巧	シトロエン DS3 R3-MAX	43:41.1
JN5/3位	柳澤宏至/中原祥雅	プジョー 208 R2	43:58.5
JN5/4位	大倉聡/豊田耕司	トヨタ・ヴィッツ GRMN ターボ	45:14.8
JN5/5位	吉澤哲也/井手上達也	プジョー 208 GTi	45:20.9
リタイア	大橋逸夫/藤上亘	MINI ジョン・クーパー・ワークス	—
リタイア	炭山裕矢/保井隆宏	シトロエン DS3 R3-MAX	—
リタイア	勝田貴元/足立さやか	GT86 CS-R3	—



ラリープラス・クスコレーシング・ラリーチーム: 柳澤宏至選手(左)/中原祥雅選手(右)

MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室
 PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.

プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2016 年全日本ラリー選手権参戦を通してプジョーのモータースポーツ活動を盛り上げるとともに、プジョー車全体のさらなる拡販を目指してまいります。

Press contacts

<http://www.peugeot.co.jp>

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室 英(はなぶさ) TEL:03-5468-1311 shinji.hanabusa@mpsa.com

一般からのお問い合わせ先 : プジョーコール TEL:0120-840-240

リリースダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp>

資料・画像ダウンロード: <http://press.peugeot.co.jp/permitted/document/>

PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらの DNA は、プジョーの全てのモデルに注がれています。世界 160 カ国で 1 万を超える拠点を展開するプジョーは、2015 年世界販売において 4.6 %アップの 171 万台に達しました。プジョーは世界へ向けて多彩な商品をもつ確固たるトップブランドを目指し、緻密なデザイン、スピード、そしてエキサイティングなフィーリングを融合しています。1889 年に始まったブランドに息づく自動車の歴史は、本年ダカールラリーにおける 2008 DKR の勝利によって新たな栄誉を獲得いたしました。

MOTION & EMOTION

プジョー・シトロエン・ジャポン 広報室
PEUGEOT CITROËN JAPON CO., LTD.